

大学番号 081

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

共同設置（事前伺い）

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

鹿屋体育大学 体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

筑波大学：国立大学法人筑波大学

鹿屋体育大学：国立大学法人鹿屋体育大学

令和3年5月1日現在

筑波大学：作成担当者
担当部局（課）名 教育推進部教育機構支援課

鹿屋体育大学：作成担当者
担当部局（課）名 教務課

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

体育学研究科

<スポーツ国際開発学共同専攻 (M) >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人筑波大学：筑波大学
 国立大学法人鹿屋体育大学：鹿屋体育大学

(2) 調査対象大学等の位置 (筑波大学)

〒305-8577
 茨城県つくば市天王台一丁目1番1

(鹿屋体育大学)
 〒891-2393
 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
筑波大学	学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
	学術院長	(ウチヤマ ハルキ) 内山 治樹 (令和2年4月)		
	専攻長	(サトウ タカヒロ) 佐藤 貴弘 (令和2年4月)		
鹿屋体育大学	学長	(マツシタ マサオ) 松下 雅雄 (平成28年8月)		
	研究科長	(モリ シロウ) 森 司朗 (平成30年4月)		
	専攻長	(ヤマダ リエ) 山田 理恵 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
 令和3年度に報告する内容 → (3)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和3年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

大学名	調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
筑波大学	人間総合科学学術院	体育関係	2年	5人	一年次	10人	新規入学者を募集 中	基礎となる学部等 体育専門学群
	一人							
鹿屋体育大学	体育学研究科	体育関係	2年	3人	一年次	6人	新規入学者を募集 中	基礎となる学部等 体育学部
	一人							

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
筑波大学	A 入学定員	人 5 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 5 (-) [-]	人 - (-) [-]	1.00倍	一倍	
	志願者数	5 (-) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]			
	受験者数	5 (-) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]			
	合格者数	5 (-) [1]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]			
	B 入学者数	5 (-) [1]	- (-) [-]	5 (-) [-]	- (-) [-]			
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00				
鹿屋体育大学	A 入学定員	人 3 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 3 (-) [-]	人 - (-) [-]	0.33倍	一倍	
	志願者数	1 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]			
	受験者数	1 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]			
	合格者数	0 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]			
	B 入学者数	0 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]			
	入学定員超過率 B/A	0		0.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **転入学生は記入しない**てください。
 - ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
筑波大学	1年次	5 [1] (-)	- [-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)	
	2年次	/		5 [1] (-)	- [-] (-)	
	計	5 [1] (-)		10 [1] (-)		
鹿屋体育大学	1年次	0 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	
	2年次	/		0 [-] (-)	- [-] (-)	
	計	0 [-] (-)		2 [1] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
				入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
筑波大学	令和2年度	5人	0人	平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	－人	－人	
				令和元年度	－人	－人	
				令和2年度	0人	0人	
	令和3年度	10人	0人	平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	－人	－人	
				令和元年度	－人	－人	
				令和2年度	0人	0人	
				令和3年度	0人	0人	
	合計		0人		0人	0人	
鹿屋体育大学	令和2年度	0人	0人	平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	－人	－人	
				令和元年度	－人	－人	
				令和2年度	0人	0人	
	令和3年度	2人	0人	平成29年度	－人	－人	
				平成30年度	－人	－人	
				令和元年度	－人	－人	
				令和2年度	0人	0人	
				令和3年度	0人	0人	
	合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<筑波大学>

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

<鹿屋体育大学>

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻 修士課程>

(1) ① 授業科目表

【設置時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	International Development and Peace through Sport I(スポーツ国際開発論I)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			2			1			
	Olympic Movement Studies(オリンピックムーブメント論)	1-2前	鹿屋体育大学	1			2						
	Diffusion of Japanese Culture(日本文化伝播論)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1									2
	Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)	1-2後	筑波大学	1			1					1	
	Sport Promotion(スポーツプロモーション論)	1-2後	鹿屋体育大学	1			1						
	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1-2前	筑波大学	1			1						
	Sport Management(スポーツマネジメント論)	1-2前	鹿屋体育大学	1			1						1
	Sport and Person with Disabilities (PWDs)(スポーツと障がい者)	1-2後	筑波大学	1								1	
	Health Promotion(ヘルスプロモーション論)	1-2前	鹿屋体育大学	1			1						
	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1-2前	筑波大学	1			1						
	Research Methods(研究方法論)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			2	1		1		1	
	Cross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論)	1-2後	筑波大学	1			1						
小計(12科目)				5	7	0	4	4	0	1	0	6	
講義・応用	International Development and Peace through Sport II(スポーツ国際開発論II)	1-2後	筑波大学	1			1	1		1		1	
	Management and Organization(経営マネジメント論)	1-2前	筑波大学	1						1			
	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1-2後	筑波大学	1						1		1	
	Research Project Management(研究プロジェクトマネジメント)	1-2後	筑波大学	1									1
	Research Project Management【Practical】(研究プロジェクトマネジメント(実践))	1-2後	筑波大学	1									1
小計(5科目)				1	4	0	1	1	0	1	0	3	
講義・関連	Principles of Development(開発学原論)	1後	筑波大学	2									1
	Public Policy for Social Development IA(社会開発のための公共政策IA)	1-2前	筑波大学	1									1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	International Development and Peace through Sport I(スポーツ国際開発論I)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			1	0			1		
	Olympic Movement Studies(オリンピックムーブメント論)	1-2前	鹿屋体育大学	1			2						
	Diffusion of Japanese Culture(日本文化伝播論)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1									2
	Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)	1-2後	筑波大学	1			1						1
	Sport Promotion(スポーツプロモーション論)	1-2後	鹿屋体育大学	1			1	0					
	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1-2前	筑波大学	1			1						
	Sport Management(スポーツマネジメント論)	1-2前	鹿屋体育大学	1				0					1
	Sport and Person with Disabilities (PWDs)(スポーツと障がい者)	1-2後	筑波大学	1			0				1		0
	Health Promotion(ヘルスプロモーション論)	1-2前	鹿屋体育大学・筑波大学	1			1				1		
	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1-2前	筑波大学	1			1						
	Research Methods(研究方法論)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			3	0			1		1
	Cross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論)	1-2後	筑波大学	1			1						
小計(12科目)				5	7	0	5	2	0	3	0	5	
講義・応用	International Development and Peace through Sport II(スポーツ国際開発論II)	1-2後	筑波大学	1			1	1		1		1	
	Management and Organization(経営マネジメント論)	1-2前	筑波大学	1							1		
	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1-2後	筑波大学	1							1		1
	Research Project Management(研究プロジェクトマネジメント)	1-2後	筑波大学	1									1
	Research Project Management【Practical】(研究プロジェクトマネジメント(実践))	1-2後	筑波大学	1									1
小計(5科目)				1	4	0	1	1	0	1	0	3	
講義・関連	Principles of Development(開発学原論)	1後	筑波大学	2									1
	Public Policy for Social Development IA(社会開発のための公共政策IA)	1-2前	筑波大学	1									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)	1-2前	筑波大学	1								1
	Public Policy for Social Development IIA(社会開発のための公共政策IIA)	1-2前	筑波大学	1								1
	Public Policy for Social Development IIB(社会開発のための公共政策IIB)	1-2前	筑波大学	1								1
	Multicultural Coexistence(多文化共生論)	1-2後	筑波大学	1					1			1
	International Politics IA(国際政治学IA)	1-2前	筑波大学	1								1
	International Politics IB(国際政治学IB)	1-2前	筑波大学	1								1
	International Politics IIA(国際政治学IIA)	1-2前	筑波大学	1								1
	International Politics IIB(国際政治学IIB)	1-2前	筑波大学	1								1
	Economics of Development in Asia I(アジアにおける開発経済学I)	1-2前	筑波大学	1								1
	Economics of Development in Asia II(アジアにおける開発経済学II)	1-2前	筑波大学	1								1
	小計(12科目)			0	13	0	0	0	0	1	0	2
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(スポーツ国際開発学課題演習)	1-2通	鹿屋体育大学・筑波大学	4			4	4		1		1
	Research Project(課題研究)	2後	鹿屋体育大学・筑波大学	4			4	4		1		1
演習・学外	JSC Seminar(JSCセミナー)	1-2通	筑波大学	1			1			1		3
	JSC Project(JSCプロジェクト)	1-2通	筑波大学	1			1			1		3
	Seminar in Universities Abroad(国外大学セミナー)	1-2通	筑波大学	1			1					1
	International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー)	1-2通	筑波大学	1			1			1		1
	NGO Activities(NGO等プロジェクト)	1-2通	筑波大学	1						1		1
実践・母国	On the Job Practice (Domestic)	1-2通	筑波大学	2			1			1		3
実践・海外	On the Job Practice (International)	1-2通	鹿屋体育大学・筑波大学	6			1	2		1		2
	小計(9科目)			14	7	0	4	4	0	1	0	5
合計(38科目)				20	31	0	4	4	0	1	0	12
卒業要件及び履修方法												
(修了要件) 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。												
(履修方法) 必修科目を含めて30単位以上(筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む)を修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)	1-2前	筑波大学	1								1	
	Public Policy for Social Development IIA(社会開発のための公共政策IIA)	1-2前	筑波大学	1								1	
	Public Policy for Social Development IIB(社会開発のための公共政策IIB)	1-2前	筑波大学	1								1	
	Multicultural Coexistence(多文化共生論)	1-2後	筑波大学	1						1		1	
	International Politics IA(国際政治学IA)	1-2前	筑波大学	1								1	
	International Politics IB(国際政治学IB)	1-2前	筑波大学	1								1	
	International Politics IIA(国際政治学IIA)	1-2前	筑波大学	1								1	
	International Politics IIB(国際政治学IIB)	1-2前	筑波大学	1								1	
	Economics of Development in Asia I(アジアにおける開発経済学I)	1-2前	筑波大学	1								1	
	Economics of Development in Asia II(アジアにおける開発経済学II)	1-2前	筑波大学	1								1	
	小計(12科目)			0	13	0	0	0	0	1	0	2	
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(スポーツ国際開発学課題演習)	1-2通	鹿屋体育大学・筑波大学	4					5	2		1	
	Research Project(課題研究)	2後	鹿屋体育大学・筑波大学	4					5	2		1	
演習・学外	JSC Seminar(JSCセミナー)	1-2通	筑波大学	1					1			3	
	JSC Project(JSCプロジェクト)	1-2通	筑波大学	1					1			3	
	Seminar in Universities Abroad(国外大学セミナー)	1-2通	筑波大学	1					1			1	
	International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー)	1-2通	筑波大学	1					1			1	
	NGO Activities(NGO等プロジェクト)	1-2通	筑波大学	1							1	1	
実践・母国	On the Job Practice (Domestic)	1-2通	筑波大学	2					1			3	
実践・海外	On the Job Practice (International)	1-2通	鹿屋体育大学・筑波大学	6					2	1		2	
	小計(9科目)			14	7	0			5	2	0	5	
合計(38科目)				20	31	0			5	2	0	3	11
卒業要件及び履修方法													
(修了要件) 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。													
(履修方法) 必修科目を含めて30単位以上(筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む)を修得すること。													

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
専門科目	International Development and Peace through Sport I(スポーツ国際開発論I)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			1	1		1			
	Olympic Movement Studies(オリンピックムーブメント論)	1-2前	鹿屋体育大学	1			2						
	Diffusion of Japanese Culture(日本文化伝播論)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1								2	
	Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)	1-2後	筑波大学	1			1						1
	Sport Promotion(スポーツプロモーション論)	1-2後	鹿屋体育大学	1			1	0					
	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1-2前	筑波大学	1			1						
	Sport Management(スポーツマネジメント論)	1-2前	鹿屋体育大学	1				1					1
	Sport and Person with Disabilities (PWDs)(スポーツと障がい者)	1-2後	筑波大学	1			1						0
	Health Promotion(ヘルスプロモーション論)	1-2前	鹿屋体育大学・筑波大学	1				1		1			
	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1-2前	筑波大学	1				1					
	Research Methods(研究方法論)	1-2前	筑波大学・鹿屋体育大学	1			3	0		1			1
	Cross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論)	1-2後	筑波大学	1				1					
小計(12科目)				5	7	0	5	3	0	2	0	5	
講義・応用	International Development and Peace through Sport II(スポーツ国際開発論II)	1-2後	筑波大学	1			1	1		1			1
	Management and Organization(経営マネジメント論)	1-2前	筑波大学	1						1			
	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1-2後	筑波大学	1						1			1
	Research Project Management(研究プロジェクトマネジメント)	1-2後	筑波大学	1									1
	Research Project Management [Practical](研究プロジェクトマネジメント(実践))	1-2後	筑波大学	1									1
小計(5科目)				1	4	0	1	1	0	1	0	3	
講義・関連	Principles of Development(開発学原論)	1後	筑波大学		2								1
	Public Policy for Social Development IA(社会開発のための公共政策IA)	1-2前	筑波大学		1								1
	Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)	1-2前	筑波大学		1								1
	Public Policy for Social Development IIA(社会開発のための公共政策IIA)	1-2前	筑波大学		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	Public Policy for Social Development IIB(社会開発のための公共政策IIB)	1-2前	筑波大学	1								1
	Multicultural Coexistence(多文化共生論)	1-2後	筑波大学	1						1		
	International Politics IA(国際政治学IA)	1-2前	筑波大学	1								1
	International Politics IB(国際政治学IB)	1-2前	筑波大学	1								1
	International Politics IIA(国際政治学IIA)	1-2前	筑波大学	1								1
	International Politics IIB(国際政治学IIB)	1-2前	筑波大学	1								1
	Economics of Development in Asia I(アジアにおける開発経済学I)	1-2前	筑波大学	1								1
	Economics of Development in Asia II(アジアにおける開発経済学II)	1-2前	筑波大学	1								1
	小計(12科目)			0	13	0	0	0	0	1	0	2
演習・学内	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(スポーツ国際開発学課題演習)	1-2通	鹿屋体育大学・筑波大学	4			5	3		1		1
	Research Project(課題研究)	2後	鹿屋体育大学・筑波大学	4			5	3		1		1
演習・学外	JSC Seminar(JSCセミナー)	1-2通	筑波大学	1		1				1		3
	JSC Project(JSCプロジェクト)	1-2通	筑波大学	1		1				1		3
	Seminar in Universities Abroad(国外大学セミナー)	1-2通	筑波大学	1		1						
	International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー)	1-2通	筑波大学	1		1				1		1
	NGO Activities(NGO等プロジェクト)	1-2通	筑波大学	1						1		
実践・母国	On the Job Practice (Domestic)	1-2通	筑波大学		2		1			1		3
	On the Job Practice (International)	1-2通	鹿屋体育大学・筑波大学	6			2	1		1		2
	小計(9科目)			14	7	0	5	3	0	1	0	5
	合計(38科目)			20	31	0	5	3	0	2	0	11
卒業要件及び履修方法												
<p>(修了要件) 2年以上在学し、所定の履修方法により30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>(履修方法) 必修科目を含めて30単位以上(筑波大学と鹿屋体育大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む)を修得すること。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<p>筑波大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容充実のため、「Sport and Person with Disabilities (PWDs) (ｽﾎｰﾂと障がい者)」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。 ・新規教員就任により、「Health Promotion(ヘルｽﾞﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論)」の担当教員に「助教1」を追加。 <p>鹿屋体育大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教員昇任により、「International Development and Peace through Sport I(ｽﾎｰﾂ国際開発論I)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。 ・担当教員昇任により、「Sport Promotion(ｽﾎｰﾂﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当教員昇任により、「Research Methods(研究方法論)」の専任教員等の配置の「教授2、准教授1」を「教授3」に変更。 ・担当教員昇任により、「IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽﾎｰﾂ国際開発学課題演習)」の専任教員等の配置の「教授4、准教授4」を「教授5、准教授3」に変更。 ・担当教員昇任により、「Research Project(課題研究)」の専任教員等の配置の「教授4、准教授4」を「教授5、准教授3」に変更。 ・担当教員昇任により、「On the Job Practice (International)」の専任教員等の配置の「教授1、准教授2」を「教授2、准教授1」に変更。
--

【令和3年度】

<p>筑波大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規教員就任に伴う担当教員交代により、「Sport and Person with Disabilities (PWDs) (ｽﾎｰﾂと障がい者)」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。 <p>鹿屋体育大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教員転出により、「International Development and Peace through Sport I(ｽﾎｰﾂ国際開発論I)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、助教1」に変更。(令和3年9月に教授1名が担当教員として追加予定) ・担当教員転出により、「Sport Management(ｽﾎｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論)」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「兼任1」に変更。(令和3年9月に教授1名が担当教員として追加予定) ・担当教員転出により、「IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽﾎｰﾂ国際開発学課題演習)」の専任教員等の配置の「教授5、准教授3」を「教授5、准教授2」に変更。 ・担当教員転出により、「Research Project(課題研究)」の専任教員等の配置の「教授5、准教授3」を「教授5、准教授2」に変更。
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
筑波大学	8 科目	26 科目	0 科目	34 科目	8 科目 [0]	27 科目 [1]	0 科目 [0]	35 科目 [1]	
鹿屋体育大学	7 科目	3 科目	0 科目	10 科目	7 科目 [0]	3 科目 [0]	0 科目 [0]	10 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
筑波大学	1						該当なし
	2						
	3						
鹿屋体育大学	1						該当なし
	2						
	3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
筑波大学	1						該当なし
	2						
	3						
鹿屋体育大学	1						該当なし
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

筑波大学：該当なし 鹿屋体育大学：該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(筑波大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{34} = \boxed{}\%$$

(鹿屋体育大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{10} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

(筑波大学)

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	1,373,254 m ²	0 m ²	0 m ²	1,373,254 m ²				
	運 動 場 用 地	344,887 m ²	0 m ²	0 m ²	344,887 m ²				
	小 計	1,718,141 m ²	0 m ²	0 m ²	1,718,141 m ²				
	そ の 他	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m ²	0 m ²	0 m ²	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m ²	建物の新築、改築による (2) 建物の新築、改築等による (3)			
	合 計	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m ²	0 m ²	0 m ²	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m ²				
(2) 校 舎	専 用	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m ² (478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m ² (478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²)	建物の新築による (2) 建物の新築等による (3)			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	332室 336室	演 習 室 300室 293室	実 験 実 習 室 2,031室 2,030室 2,032室	情 報 処 理 学 習 施 設 30室 29室 (補助職員12人) 10人 12人	語 学 学 習 施 設 7室 0室 1室 (補助職員14人) 15人 16人	申請大学全体 改修工事による用途見直し、語学学習施設の耐震改修（一般教室で代替中）、人事異動等のため (2) 改修工事による用途見直し、語学学習システムのオンライン化、人事異動等のため (3)		
	新設学部等の名称	室 数					改修工事による用途見直しのため (3)		
(4) 専任教員研究室	申請大学全体		1,834 1,830 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の数資料購入により図書・雑誌数増加、資料除籍のため視聴覚資料数減少 (3)	
	申請大学全体	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,955])	17,262 (17,345) (17,219)	24,989 (24,989)	551 (551)		
	計	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,955])	17,262 (17,345) (17,219)	24,989 (24,989)	551 (551)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新制大学全体			
	30,041 m ²	2,230 2,233 2,238		2,606,504 2,607,028 2,613,611		閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (2) 医学図書館ラーニングコモンス設置に伴い閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (3)			
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					新制大学全体		
	22,713 m ²	テニスコート、ハンドボール場、ラグビー場、サッカー場、陸上競技場、屋内プール					屋内プールは体育館面積に含まれているため (2)		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(鹿屋体育大学)

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用：高須団地 461㎡			
	校舎敷地	134,622 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	134,622 ㎡				
	運動場用地	168,701 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	168,701 ㎡				
	小 計	303,323 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	303,323 ㎡				
	そ の 他	75,785 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	75,785 ㎡				
	合 計	379,108 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	379,108 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	国立大学法人等施設 実態報告書の校舎等の 算出面積の区分の見直 しによる減のため (2)			
		14,549 ㎡ 10,304 ㎡ -(14,549 ㎡)- (10,304 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	14,549 ㎡ 10,304 ㎡ -(14,549 ㎡)- (10,304 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		14室	9室	30室	2室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		令和2年8月31日付 専任教員1名が転出のため (3)			
		スポーツ国際開発学共同専攻		4 5 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書の追加購入・廃棄 等のため (2) 図書の追加購入・廃棄 等のため (3)	
	体育学研究科 スポーツ国際開 発学共同専攻	116,221〔24,512〕- -(121,027〔28,691〕)- (115,200〔28,254〕)	2,508〔586〕- -(2,510〔586〕)- (2,509〔 586 〕)	4,437〔4,437〕- -(4,439〔4,437〕)- (4,430〔4,430〕)	867 872 880	31 39	0		
		116,221〔24,512〕- -(121,027〔28,691〕)- (115,200〔28,254〕)	2,508〔586〕- -(2,510〔586〕)- (2,509〔 586 〕)	4,437〔4,437〕- -(4,439〔4,437〕)- (4,430〔4,430〕)	867 872 880	31 39	0		
	計	116,221〔24,512〕- -(121,027〔28,691〕)- (115,200〔28,254〕)	2,508〔586〕- -(2,510〔586〕)- (2,509〔 586 〕)	4,437〔4,437〕- -(4,439〔4,437〕)- (4,430〔4,430〕)	867 872 880	31 39	0		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		1,288 ㎡	106	108,667					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体 ラグビー場器具庫の建 替えによる減のため (2) 屋外トイレ、テニス倉 庫の設置による増のため (3)			
		14,072 ㎡ 14,065 ㎡ 14,085 ㎡	陸上競技場 (3種) サッカー場 ラグビー場 ホッケー場 多目的グラウンド	1 面 1 面 1 面 1 面 1 面	テニスコート ハンドボール場 ゴルフ練習場	16 面 1 面 11 打席			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

(筑波大学)

大学の名称	筑波大学						学生募集停止学科数	80	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人文・文化学群	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度	-	
人文学類	4	240	-	960	-	1.04	1.02	-	平成19	-	
比較文化学類	4	120	-	480	学士 (人文学)	1.05	1.03	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
日本語・日本文化学類	4	80	-	320	学士 (比較文化)	1.03	1.02	-	平成19	同上	
	4	40	-	160	学士 (文学) (日本語教育)	1.03	0.97	-	平成19	同上	
社会・国際学群	4	160	3年次10	660	-	1.03	0.96	-	平成19	-	
社会学類	4	80	3年次10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	1.02	0.95	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
国際総合学類	4	80	-	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科学)	1.04	0.97	-	平成19	同上	
人間学群	4	120	-	480	-	1.06	1.07	-	平成19	-	
教育学類	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.05	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
心理学類	4	50	-	200	学士 (心理学)	1.06	1.10	-	平成19	同上	
障害科学類	4	35	-	140	学士 (障害科学) (特別支援教育学) (社会福祉学)	1.05	1.05	-	平成19	同上	
生命環境学群	4	250	3年次10	1,020	-	1.03	0.96	-	平成19	-	
生物学類	4	80	-	320	学士 (理学)	1.03	0.95	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
生物資源学類	4	120	3年次10	500	学士 (生物資源学) (農学)	1.03	0.95	-	平成19	同上	
地球学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.03	1.02	-	平成19	同上	
理工学群	4	520	3年次10	2,100	-	1.02	1.01	-	平成19	-	
数学類	4	40	-	160	学士 (理学)	1.01	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
物理学類	4	60	-	240	学士 (理学)	1.01	1.03	-	平成19	同上	
化学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.01	1.02	-	平成19	同上	
応用理工学類	4	120	3年次10	500	学士 (工学)	1.02	0.99	-	平成19	同上	
工学システム学類	4	130	-	520	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成19	同上	
社会工学類	4	120	-	480	学士 (社会工学)	1.02	1.04	-	平成19	同上	
情報学群	4	230	3年次30	980	-	1.05	1.04	-	平成19	-	
情報科学類	4	80	3年次10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	1.05	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
情報メディア創成学類	4	50	3年次10	220	学士 (情報メディア科学)	1.06	1.02	-	平成19	茨城県つくば市 春日1-2	
知識情報・図書館学類	4	100	3年次10	420	学士 (図書館情報学)	1.05	1.05	-	平成19	同上	

医学群(修業年限6年)	-	134	2年次 ⁵	833		0.99	0.93	令和2	平成19	-	
医学類	6	134	2年次 ⁵	833	学士 (医学)	0.99	0.93	令和2	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	定員変更 (36)
医学群(修業年限4年)	4	107	3年次 ¹³	454	-	1.03	1.01	-	平成19		
看護学類	4	70	3年次 ¹⁰	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	1.04	1.02	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3年次 ³	154	学士 (医療科学) (国際医療科学)	1.02	1.00	-	平成19	同上	
体育専門学群	4	240	-	960	学士 (体育学)	1.06	1.06	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	-	400	学士 (芸術学)	1.04	1.03	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
大学全体	4	1,967	3年次 ⁷³	8,014	-	1.03	1.01	-	-	-	-
	6	134	2年次 ⁵	833		0.99	0.93				
人文社会ビジネス科学学術院	-	355	-	833	-			-	令和2		令和2年4月 設置
(M)	2	202		404	-	0.88	0.82	-			
(D)	3	87		261	-	0.53	0.51	-			
(P)	2	30		60	-	1.06	1.16	-			
	3	36		108	-	1.12	1.08	-			
人文社会科学研究群 (M)	2	139	-	278	修士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.86	0.76	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月 設置
人文社会科学研究群 (D)	3	66	-	198	博士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.41	0.42	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
ビジネス科学研究群 (M)	2	63	-	126	修士 (法学) (経営学)	0.92	0.96	-	令和2	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月 設置
ビジネス科学研究群 (D)	3	21	-	63	博士 (法学) (経営学)	0.92	0.80	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
法曹専攻 (P)	3	36	-	108	法務博士 (専門職)	1.12	1.08	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際経営プロフェッショナル専攻 (P)	2	30	-	60	国際経営修士 (専門職)	1.06	1.16	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
理工情報生命学術院	-	1,332	-	2,988	-			-	令和2		令和2年4月 設置
(M)	2	1,024		2,048	-	1.09	1.07	-			
(D)	3	300		900	-	0.95	0.91	-			
	5	8		40	-	0.87	1.00	-			
数理工学科学研究群 (M)	2	276	-	552	修士 (理学) (工学)	1.01	1.01	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月 設置
数理工学科学研究群 (D)	3	88	-	264	博士 (理学) (工学)	0.77	0.77	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
システム情報工学研究群 (M)	2	431	-	862	修士 (社会工学) (工学) (サービス工学) (生物情報学)	1.18	1.18	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
システム情報工学研究群 (D)	3	94	-	282	博士 (社会工学) (工学) (生物情報学)	1.24	1.18	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
	5	8	-	40	修士 (人間情報学)	0.87	1.00	-			
					博士 (人間情報学)						
生命地球科学研究群 (M)	2	311	-	622	修士 (理学) (農学) (環境科学) (山岳科学) (食料革新学) (環境制御学) (生物工学)	1.05	0.99	-	令和2	同上	令和2年4月 設置

生命地球科学研究群 (D)	3	118	-	354	博士 (理学) (農学) (生命農学) (生物工学) (環境学) (食料革新学) (環境制御学)	0.86	0.79	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携持続環境科学専攻 (M)	2	6	-	12	修士 (持続環境科学)	0.33	0.33	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
人間総合科学学術院 (M)	-	821	-	1,970	-	-	-	-	令和2		令和2年4月 設置
(D)	2	589	-	1,178	-	0.98	0.91	-			
	3	144	-	432	-	1.08	1.02	-			
	4	80	-	320	-	1.09	1.13	-			
	5	8	-	40	-	0.81	0.75	-			
人間総合科学研究群 (M)	2	575	-	1,150	修士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (医科学) (公衆衛生学) (体育学) (スポーツ・リハビリ科学) (スポーツ・福祉学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学)	0.99	0.93	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1 東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月 設置
人間総合科学研究群 (D)	3	141	-	423	博士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (ヒューマン・ケア科学) (公衆衛生学) (スポーツ医学) (体育科学) (コーチング学) (スポーツ・福祉学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学) (医科学)	1.08	1.02	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
	4	80	-	320	(医学)	1.09	1.13	-	令和2	同上	
	5	8	-	40	(人間生物学)	0.81	0.75	-	令和2	同上	
スポーツ国際開発学共同専攻 (M)	2	5	-	10	修士 (スポーツ国際開発学)	1.00	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月 設置
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D)	3	3	-	9	博士 (体育スポーツ学)	1.16	1.00	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携食料健康科学専攻 (M)	2	9	-	18	修士 (食料健康科学)	0.72	0.00	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
教育研究科 スクール・デザイン開発専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53 平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
教科教育専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53	同上	令和2年 学生募集停止
人文社会科学研究科 哲学・思想専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13 平成13	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
歴史・人類学専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
文芸・言語専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (文学) (言語学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
現代語・現代文化専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (文学) (言語学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
現代語・現代文化専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

国際公共政策専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際地域研究専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (地域研究) (国際学) (公共政策) (経済学) (学術)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (経営学) (経営システム科学)	-	-	-	平成13 平成13	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
企業法学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
企業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (経営学) (システム・マネジメント) (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
法曹専攻 (専門職学位課程)	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	2	-	-	-	国際経営修士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
数理工学物質科学研究科 数学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12 平成12	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
数学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
ナノハイブリッド・ナノテクノロジー専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (工学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物質・材料工学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年 学生募集停止
システム情報工学研究科 社会工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (社会工学) (サービス工学)	-	-	-	平成12 平成26	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
社会工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会工学)	-	-	-	平成26	同上	令和2年 学生募集停止
社会システム・マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会経済) (社会工学) (マネジメント) (工学)	-	-	-	平成12	同上	平成26年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学) (社会工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
コンピュータサイエンス専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
コンピュータサイエンス専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止

知能機能システム専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
生命環境科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12 平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
地球科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物資源科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (農学) (生物資源工学) (生物工学) (バイオイノベーション) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携持続環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (持続環境科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
地球環境科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
地球進化科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (生物科学) (学術)	-	-	-	平成23	同上	令和2年 学生募集停止
環境バイオマス共生学専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (学術)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
国際地縁技術開発科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物資源工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生命産業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生物科学) (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
持続環境学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (環境学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
先端農業技術科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
人間総合科学研究科	-	-	-	-	修士	-	-	-	平成13 平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
スポーツ健康システム・マネジメント専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (保健学)	-	-	-	平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (医科学) (公衆衛生学) (ヒューマン・ケア科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
教育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
学校教育学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (心理学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (心理学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (障害科学) (特別支援教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (障害科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生涯発達専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (カウンセリング) (リハビリテーション)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
生涯発達科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生涯発達科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

ヒューマン・ケア科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (心理学) (ヒューマン・ケア科学) (体育科学) (公衆衛生学) (学術)	-	-	-	平成20	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
スポーツ医学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (スポーツ医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生命システム医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
疾患制御医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (看護科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (看護科学)	-	-	-	平成21	同上	令和2年 学生募集停止
体育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (コーチング学) (スポーツリハビリ科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (体育科学) (健康スポーツ科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
コーチング学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (コーチング学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界遺産専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (スポーツ国際開発学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (体育スポーツ学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携食料健康科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (食料健康科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (図書館情報学) (情報学)	-	-	-	平成15 平成15	茨城県つくば市 春日1-2	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (図書館情報学) (情報学) (学術)	-	-	-	平成15	同上	令和2年 学生募集停止
大学院全体	-	2,508	-	5,791	-	-	-	-	-	-	-
(M)	2	1,815	-	3,630	-	1.03	0.99	-	-	-	-
(D)	3	531	-	1,593	-	0.92	0.87	-	-	-	-
	4	80	-	320	-	1.09	1.13	-	-	-	-
	5	16	-	80	-	0.84	0.87	-	-	-	-
(P)	2	30	-	60	-	1.06	1.16	-	-	-	-
	3	36	-	108	-	1.12	1.08	-	-	-	-

(鹿屋体育大学)

大学の名称	鹿屋体育大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人 3年次 20	人		倍	倍	年度	年度	年度	
体育学部	4	170	3年次 20	720	学士 (体育学)	1.06	1.07		昭和59	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
スポーツ総合課程	4	120	3年次 20	480 (40)	学士 (体育学)	1.08	1.08		平成18	同上	
武道課程	4	50	3年次 20	200 (40)	学士 (体育学)	1.03	1.04		昭和59	同上	
体育学研究科											
体育学専攻 (修士課程)	2	15	-	30	修士 (体育学)	1.00	1.20		昭和63	鹿児島県鹿屋市白水町1番地	
体育学専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (体育学)	1.17	1.17		平成16	同上	
<u>スポーツ国際開発学共同専攻</u> (修士課程)	2	3	-	6	修士 (スポーツ国際 開発学)	0.34	0.67	令和2	平成28	同上	設置
<u>大学体育スポーツ高度化共同専攻</u> (後期3年の課程のみの博士課程)	3	2	-	6	博士 (体育スポーツ学)	1.00	1.00	令和2	平成28	同上	設置
大学全体	-	196	-	780	-	-	-	-	-	-	
学部	4	170	3年次 20	720	-	1.06	1.07	-	-	-	
大学院	-	26	-	60	-	-	-	-	-	-	
(M)	2	18	-	36	-	0.89	1.11	-	-	-	
(D)	3	8	-	24	-	1.13	1.13	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・構成大学ごとに記入してください。

5 教員組織の状況

<体育学研究科 スポーツ国際開発学共同専攻 修士課程>

(1) -① 担当教員表

<筑波大学>

【設置時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 貴弘 (43) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ)
		Gross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究)
専	教授	清水 諭 (59) <令和2年4月> 教育学博士
		Sport, Culture and Society(ス*-ツ文化・社会) International Sport Policy Studies(国際ス*-ツ政策研究) Research Methods(研究方法論)※ International Development and Peace through Sport II(ス*-ツ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) Seminar in Universities Abroad(国外大学セミナー) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) On the Job Practice (Domestic) On the Job Practice (International)
専	准教授	松元 剛 (56) <令和2年4月> 体育学修士
		Advanced Coach Education(上級コーチ教育論) International Development and Peace through Sport II(ス*-ツ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) On the Job Practice (International)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 貴弘 (44) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ)
		Sport and Person with Disabilities (PWDs)(ス*-ツと障がい者) Gross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究)
専	教授	清水 諭 (59) <令和2年4月> 教育学博士
		Sport, Culture and Society(ス*-ツ文化・社会) International Sport Policy Studies(国際ス*-ツ政策研究) Research Methods(研究方法論)※ International Development and Peace through Sport II(ス*-ツ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) Seminar in Universities Abroad(国外大学セミナー) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) On the Job Practice (Domestic) On the Job Practice (International)
専	准教授	松元 剛 (56) <令和2年4月> 体育学修士
		Advanced Coach Education(上級コーチ教育論) International Development and Peace through Sport II(ス*-ツ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) On the Job Practice (International)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 貴弘 (45) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (アメリカ)
		Sport and Person with Disabilities (PWDs)(ス*-ツと障がい者) Gross cultural studies in physical sport education(比較体育科教育論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究)
専	教授	清水 諭 (60) <令和2年4月> 教育学博士
		Sport, Culture and Society(ス*-ツ文化・社会) International Sport Policy Studies(国際ス*-ツ政策研究) Research Methods(研究方法論)※ International Development and Peace through Sport II(ス*-ツ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) Seminar in Universities Abroad(国外大学セミナー) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) On the Job Practice (Domestic) On the Job Practice (International)
専	准教授	松元 剛 (57) <令和2年4月> 体育学修士
		Advanced Coach Education(上級コーチ教育論) International Development and Peace through Sport II(ス*-ツ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ス*-ツ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) On the Job Practice (International)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 拓 (46) <令和2年4月> 修士(政策科学) International Development and Peace through Sport I(ｽｰﾂ国際開発論I)※ Research Methods(研究方法論)※ International Development and Peace through Sport II(ｽｰﾂ国際開発論II)※ Management and Organization(経営マネジメント論) Project Management(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント論) Multicultural Coexistence(多文化共生論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽｰﾂ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) NGO Activities(NGO等ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ) On the Job Practice (Domestic) On the Job Practice (International)
兼任	教授	Rakwal Randeep (51) <令和2年4月> 博士(農学) Research Project Management(研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント) Research Project Management【Practical】(研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント【実践】)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	KIM SATBYUL ESTELLA (37) <令和2年4月> PhD(韓国) Health Promotion(ヘルｽﾞﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論)
専	助教	山口 拓 (46) <令和2年4月> 修士(政策科学) International Development and Peace through Sport I(ｽｰﾂ国際開発論I)※ Research Methods(研究方法論)※ International Development and Peace through Sport II(ｽｰﾂ国際開発論II)※ Management and Organization(経営マネジメント論) Project Management(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント論) Multicultural Coexistence(多文化共生論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽｰﾂ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) NGO Activities(NGO等ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ) On the Job Practice (Domestic) On the Job Practice (International)
兼任	教授	Rakwal Randeep (51) <令和2年4月> 博士(農学) Research Project Management(研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント) Research Project Management【Practical】(研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント【実践】)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	KIM SATBYUL ESTELLA (38) <令和2年4月> PhD(韓国) Health Promotion(ヘルｽﾞﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論)
専	助教	永田 真一 (37) <令和3年2月> Ph. D. (ｱﾘｺﾞ) Sport and Person with Disabilities (PWDs)(ｽｰﾂと障がい者)
専	助教	山口 拓 (47) <令和2年4月> 修士(政策科学) International Development and Peace through Sport I(ｽｰﾂ国際開発論I)※ Research Methods(研究方法論)※ International Development and Peace through Sport II(ｽｰﾂ国際開発論II)※ Management and Organization(経営マネジメント論) Project Management(ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント論) Multicultural Coexistence(多文化共生論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽｰﾂ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) NGO Activities(NGO等ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ) On the Job Practice (Domestic) On the Job Practice (International)
兼任	教授	Rakwal Randeep (52) <令和2年4月> 博士(農学) Research Project Management(研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント) Research Project Management【Practical】(研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄマネジメント【実践】)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大石 純子 (53) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		Diffusion of Japanese Culture(日本文化伝播論) International Development and Peace through Sport II(ｽﾎｰﾂ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽﾎｰﾂ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) On the Job Practice (Domestic)
兼任	准教授	川崎 レスリー タック (56) <令和2年4月> 博士(国際政治経済学)
		Public Policy for Social Development IA(社会開発のための公共政策IA)【隔年】 Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)【隔年】 Public Policy for Social Development IIA(社会開発のための公共政策IIA)【隔年】 Public Policy for Social Development IIB(社会開発のための公共政策IIB)【隔年】 International Politics IA(国際政治学IA)【隔年】 International Politics IB(国際政治学IB)【隔年】 International Politics IIA(国際政治学IIA)【隔年】 International Politics IIB(国際政治学IIB)【隔年】
兼任	講師	板垣 啓子 (57) <令和2年4月> 国際学修士
		Project Management(プロジェクトマネジメント論)
兼任	講師	勝田 隆 (62) <令和2年4月> 博士(ｽﾎｰﾂ科学)
		JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) On the Job Practice (Domestic)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大石 純子 (53) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		Diffusion of Japanese Culture(日本文化伝播論) International Development and Peace through Sport II(ｽﾎｰﾂ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽﾎｰﾂ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) On the Job Practice (Domestic)
兼任	准教授	川崎 レスリー タック (56) <令和2年4月> 博士(国際政治経済学)
		Public Policy for Social Development IA(社会開発のための公共政策IA)【隔年】 Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)【隔年】 Public Policy for Social Development IIA(社会開発のための公共政策IIA)【隔年】 Public Policy for Social Development IIB(社会開発のための公共政策IIB)【隔年】 International Politics IA(国際政治学IA)【隔年】 International Politics IB(国際政治学IB)【隔年】 International Politics IIA(国際政治学IIA)【隔年】 International Politics IIB(国際政治学IIB)【隔年】
兼任	講師	板垣 啓子 (57) <令和2年4月> 国際学修士
		Project Management(プロジェクトマネジメント論)
兼任	講師	勝田 隆 (62) <令和2年4月> 博士(ｽﾎｰﾂ科学)
		JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) On the Job Practice (Domestic)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大石 純子 (54) <令和2年4月> 博士(体育科学)
		Diffusion of Japanese Culture(日本文化伝播論) International Development and Peace through Sport II(ｽﾎｰﾂ国際開発論II)※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport(ｽﾎｰﾂ国際開発学課題演習) Research Project(課題研究) JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) International Conference and Seminar(国際カンファレンス・セミナー) On the Job Practice (Domestic)
兼任	准教授	川崎 レスリー タック (57) <令和2年4月> 博士(国際政治経済学)
		Public Policy for Social Development IA(社会開発のための公共政策IA)【隔年】 Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)【隔年】 Public Policy for Social Development IIA(社会開発のための公共政策IIA)【隔年】 Public Policy for Social Development IIB(社会開発のための公共政策IIB)【隔年】 International Politics IA(国際政治学IA)【隔年】 International Politics IB(国際政治学IB)【隔年】 International Politics IIA(国際政治学IIA)【隔年】 International Politics IIB(国際政治学IIB)【隔年】
兼任	講師	板垣 啓子 (58) <令和2年4月> 国際学修士
		Project Management(プロジェクトマネジメント論)
兼任	講師	勝田 隆 (63) <令和2年4月> 博士(ｽﾎｰﾂ科学)
		JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) On the Job Practice (Domestic)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金森 サヤ子 (40) <令和2年4月> 博士(保健学)
		Research Methods(研究方法論)※
兼任	講師	Jeet Bahadur Sapkota (48) <令和2年4月> 博士(学術)
		Principles of Development(開発学原論) Economics of Development in Asia I(アジアにおける開発経済学I)【隔年】 Economics of Development in Asia II(アジアにおける開発経済学II)【隔年】
兼任	講師	田中 暢子 (53) <令和2年4月> 博士(スポーツ政策学・スポーツマネジメント学)
		Sport and Person with Disabilities (PWDs)(スポーツと障がい者)
兼任	講師	LEITNER Katrin Jumiko (37) <令和2年4月> Doktoratsstudium Philosophie Japanologie (Dr. phil.) (オーストリア)
		Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)
兼任	講師	和久 貴洋 (54) <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)
		JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) On the Job Practice (Domestic)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金森 サヤ子 (40) <令和2年4月> 博士(保健学)
		Research Methods(研究方法論)※
兼任	講師	Jeet Bahadur Sapkota (48) <令和2年4月> 博士(学術)
		Principles of Development(開発学原論) Economics of Development in Asia I(アジアにおける開発経済学I)【隔年】 Economics of Development in Asia II(アジアにおける開発経済学II)【隔年】
兼任	講師	田中 暢子 (53) <令和2年4月> 博士(スポーツ政策学・スポーツマネジメント学)
		Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)
兼任	講師	LEITNER Katrin Jumiko (37) <令和2年4月> Doktoratsstudium Philosophie Japanologie (Dr. phil.) (オーストリア)
		Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)
兼任	講師	和久 貴洋 (54) <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)
		JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) On the Job Practice (Domestic)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金森 サヤ子 (41) <令和2年4月> 博士(保健学)
		Research Methods(研究方法論)※
兼任	講師	Jeet Bahadur Sapkota (49) <令和2年4月> 博士(学術)
		Principles of Development(開発学原論) Economics of Development in Asia I(アジアにおける開発経済学I)【隔年】 Economics of Development in Asia II(アジアにおける開発経済学II)【隔年】
兼任	講師	田中 暢子 (53) <令和2年4月> 博士(スポーツ政策学・スポーツマネジメント学)
		Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)
兼任	講師	LEITNER Katrin Jumiko (38) <令和2年4月> Doktoratsstudium Philosophie Japanologie (Dr. phil.) (オーストリア)
		Sport, Culture and Society(スポーツ・文化・社会)
兼任	講師	和久 貴洋 (55) <令和2年4月> 博士(スポーツ科学)
		JSC Seminar(JSCセミナー) JSC Project(JSCプロジェクト) On the Job Practice (Domestic)

<鹿屋体育大学>

【設置時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森 克己 (59) <令和2年4月> 法学修士 Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)
専	教授	山田 理恵 (60) <令和2年4月> 博士(体育学) Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) Research Methods (研究方法論) ※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)
専	准教授	Islam Mohammad Monirul (56) <令和2年4月> 博士(医学) Health Promotion (ヘルスプロモーション論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北村 尚浩 (52) <令和2年4月> 修士(体育学) International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I) ※ Sport Promotion (スポーツプロモーション論) Research Methods (研究方法論) ※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究) On the Job Practice (International)
専	教授	森 克己 (59) <令和2年4月> 法学修士 Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)
専	教授	山田 理恵 (60) <令和2年4月> 博士(体育学) Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) Research Methods (研究方法論) ※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)
専	准教授	Islam Mohammad Monirul (56) <令和2年4月> 博士(医学) Health Promotion (ヘルスプロモーション論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北村 尚浩 (53) <令和2年4月> 修士(体育学) International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I) ※ Sport Promotion (スポーツプロモーション論) Research Methods (研究方法論) ※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究) On the Job Practice (International)
専	教授	森 克己 (60) <令和2年4月> 法学修士 Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)
専	教授	山田 理恵 (61) <令和2年4月> 博士(体育学) Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論) Research Methods (研究方法論) ※ IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)
専	准教授	Islam Mohammad Monirul (57) <令和2年4月> 博士(医学) Health Promotion (ヘルスプロモーション論) IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習) Research Project (課題研究)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<筑波大学>

【令和2年度】

- ・佐藤貴弘教授の担当授業科目に「Sport and Person with Disabilities (PWDs) (ｽﾎﾟｰﾂと障がｲ者)」を追加。
- ・令和2年4月、KIM SATBYUL ESTELLA助教就任。担当授業科目は「Health Promotion(ヘルｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ)」。
- ・田中暢子講師(兼任)就任辞退。

【令和3年度】

- ・佐藤貴弘教授の担当授業科目から「Sport and Person with Disabilities (PWDs) (ｽﾎﾟｰﾂと障がｲ者)」を削除。
- ・令和3年2月、永田真一助教就任。担当授業科目は「Sport and Person with Disabilities (PWDs) (ｽﾎﾟｰﾂと障がｲ者)」。

<鹿屋体育大学>

【令和2年度】

- ・令和元年10月、北村尚浩准教授が教授に昇任。

【令和3年度】

- ・令和2年8月、萩原悟一准教授が転出。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **課外で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数		完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数		
筑波大学	2 名	2 名	2 名
鹿屋体育大学	2 名	1 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

大学名	設置時の計画						現在（報告時）の状況					
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
筑波大学	2	1	0	1	4	0	2	1	0	3	6	0
	(2)	(1)	(0)	(2)	(5)	(0)						
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
	3	1	0				3	3	0			
	(3)	(2)	(0)									
鹿屋体育大学	2	3	0	0	5	0	3	1	0	0	4	0
	(3)	(2)	(0)	(0)	(5)	(0)						
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
	4	1	0				3	1	0			
	(4)	(1)	(0)									
大学名	現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
	教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
筑波大学	2	1	0	3	6	0	2	1	0	3	6	0
	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
	3	3	0				3	3	0			
	[0]	[2]	[0]				[0]	[2]	[0]			
鹿屋体育大学	3	1	0	0	4	0	4	1	0	0	5	0
	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
	3	1	0				3	2	0			
	[Δ1]	[0]	[0]				[Δ1]	[1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
筑波大学	65 歳	0 名	0 名
鹿屋体育 大学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{9} = \boxed{111.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
筑波大学			該当なし					
鹿屋体育大学			該当なし					

合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、7. 改元に伴う元号は、適宜更新ください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
筑波大学			該当なし					
鹿屋体育大学	1	准教授	萩原 悟一	R2.8	必修	International Development and Peace through Sport I (スポーツ国際開発論I)	①	R2.8.31付け転出のため辞任 (3)
					選択	Sport Management (スポーツマネジメント論)	①	
					必修	IDS Seminar: International Development and Peace through Sport (スポーツ国際開発学課題演習)	①	
					必修	Research Project (課題研究)	①	

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	4 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	4 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
筑波大学			該当なし				
鹿屋体育大学			該当なし				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

筑波大学：該当なし

鹿屋体育大学：専任教員転出に伴い、他の担当教員が対応すること及び後任補充をしており、学生の履修等に影響はない。 学生にも口頭及び配付資料により周知済みである。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
事前伺い時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<筑波大学>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

<鹿屋体育大学>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<筑波大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・全学的な教員の資質の維持向上のため、全学組織である教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動の実施に関する要項」を制定し、全学的なFD活動の推進を行っている。（別紙2,3を参照）
- ・部局FDについては、人間総合科学学術院における人材養成の目的及び教育課程の編成等に関する細則第8条の2に基づきFDを実施（別紙4を参照）。学術院運営委員会の下にFD推進委員会その他関係する委員会を設置しているほか（別紙5を参照）、本専攻においては教務・学生委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教学マネジメント室運営会議：月1回
- ・人間総合科学学術院運営委員会：毎月1回開催（原則第4金曜日）
- ・人間総合科学学術院FD推進委員会：議題に応じて不定期に開催
- ・スポーツ国際開発学共同専攻教務・学生委員会：定期的に開催し、月1回開催される運営委員会に報告

c 委員会の審議事項等

- ・教学マネジメント室教育力向上部門は、全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画及び実施並びに部局におけるファカルティ・ディベロップメント活動の支援に関することを業務としている。
- ・人間総合科学学術院運営委員会：学術院部局細則の制定・改廃、学生の身分異動、教育課程の編成、学生支援・表彰の発議、予算配分、自己点検・評価 等
- ・人間総合科学学術院FD推進委員会：「FDプログラム」の企画・実施など、FDの推進に関する事項
- ・スポーツ国際開発学共同専攻教務・学生委員会：シラバス、カリキュラム内容、授業評価、学生との懇談会

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教学マネジメント室教育力向上部門：全学FD研修会の企画及び運営
- ・ 人間総合科学学術院：「FDプログラム」の企画及び運営
 - ※FDプログラムでは、①大学が掲げる教育理念の実現を目指した授業の改善、②カリキュラムの改善、③教育学生支援体制の整備・改革、④国際化やユニバーサル化への新たな授業デザインモデルの構築を行うとともに、教員及び大学院生の教育能力開発を行うことを目的とした研修会の開催等を行っている。
- ・ スポーツ国際開発学共同専攻：全学授業評価アンケート、専攻学生との懇談会、オムニバス形式の授業における教員相互の授業参加、新入生向けオリエンテーションを実施

b 実施方法

- ・ 教学マネジメント室教育力向上部門：全学FD研修会の開催
- ・ 人間総合科学学術院：FDプログラムの開催（5月はオンデマンド配信により開催予定）
- ・ スポーツ国際開発学共同専攻：学期末の授業評価アンケート、および春学期末に学生との懇談会を開催

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全学FD研修会：全学的に実施している学位プログラムのモニタリング及びプログラムレビューの結果等も踏まえて全学FD研修会を企画・実施している。令和2年度は全16回の全学FD研修会を実施した。
- ・ 人間総合科学学術院FDプログラム：年4回を予定（対象：学術院に所属する全教職員・大学院生）
 - 第1回：モデル授業
 - 第2回：武者修行型学修派遣支援事業の成果報告
 - 第3回：テーマ検討中 ※昨年度に実施した「学位プログラム制について」に相当する啓蒙的講演を予定
 - 第4回：TF優勝賞受賞者による公開授業とFD大賞受賞専攻によるプレゼンテーション
- ・ スポーツ国際開発学共同専攻：教員と学生共に積極的に参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 人間総合科学学術院：FDプログラムの各回終了後にWEBアンケートを実施するとともに、プログラムの目的達成に向けて講演者及び聴講者へのフィードバックを行っている。
- ・ スポーツ国際開発学共同専攻：学生との懇談会での要望について各教員へのフィードバックを実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 実施有。講義最終日に行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 全学授業評価アンケートを基に全科目のアンケートを集計し、授業担当の各教員にフィードバックを実施

<鹿屋体育大学>

- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況
 - F D 推進専門委員会
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 月 1 回程度（構成委員は毎回ほぼ全員参加）
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ F D 講演会及び研修会等の検討
 - ・ 授業参観実施に向けた参観科目の調整
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ F D 講演会及び研修会等の開催
 - ・ 教員相互の授業参観
 - ・ 新任教員のための研修会 等
 - b 実施方法
 - ・ 外部講師を招聘し講演会を実施
 - ・ 授業参観推奨科目を決定し教員へ周知し、授業参観を実施
 - ・ 新任教員へ採用時に F D 関係事項について研修会を実施
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 前期及び後期にそれぞれアンケートの実施及び年間を通して研修会を実施
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ アンケート結果を教員へフィードバックし、次年度以降の授業改善を実施
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 各学期末に実施
 - b 教員や学生への公開状況, 方法等
 - ・ 授業担当教員へアンケート結果をフィードバック

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<筑波大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月に人間総合科学学術院スポーツ国際開発学共同専攻を設置し、新任教員（助教）の配置及び授業科目の開設等を行い、令和2年度に5名、令和3年度に7名の入学者を迎えることができた。設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」は全学的に配付・周知されており、また、当該書類に記載した改革の要点をまとめた大学院改革パンフレットも制作・公表している。

さらに令和2年度から、教学マネジメントの確立のため、学位プログラムごとに入口から出口にわたる対面式とオンライン教育の両方の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューを全学的に開始した（大学院については令和2年度に試行、令和3年度から正式導入）。今後も、新たな教育システムの下、当該専攻が大学院の担うべき重要な使命を果たし、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度中 筑波大学年次報告書の公表

※前年度の各教育組織の状況の評価した結果を基に作成するため、令和3年度から公表開始

b 公表方法

- ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受け、「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との結果を得た。
- ・次回は令和6年度までに受審する予定である。

<鹿屋体育大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月に体育学研究科スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）を開設し、令和2年度5名、令和3年度7名の新入生を迎えることが出来た。「設置の趣旨・目的」は専攻のカリキュラムとともに冊子にし、学生に公開している。さらに、内容を抜粋し、専攻のウェブページにも掲載し周知している。スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）は開設の趣旨や目的に沿って、着実に進み、教育効果を生み出していると考えられる。今後も当該専攻が、大学院の担うべき重要な使命を果たし、設置の趣旨に違わぬ成果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年3月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行する予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和4年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<筑波大学>

○ 設置計画履行状況報告書(令和2年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

<鹿屋体育大学>

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。